

2026年度（令和8年度）スタート！

協会けんぽ健診制度 変更のポイント

人間ドック補助・若年層健診・骨粗鬆症検診など、より充実した制度へ



制度変更 5つの大きなポイント



人間ドック補助開始

最大25,000円の補助
(35歳～74歳)



若年層健診の新設

20歳・25歳・30歳
も対象に



検査項目の追加

骨粗鬆症検診
(女性)・喀痰細胞診



名称変更

「付加健診」が
「節目健診」へ

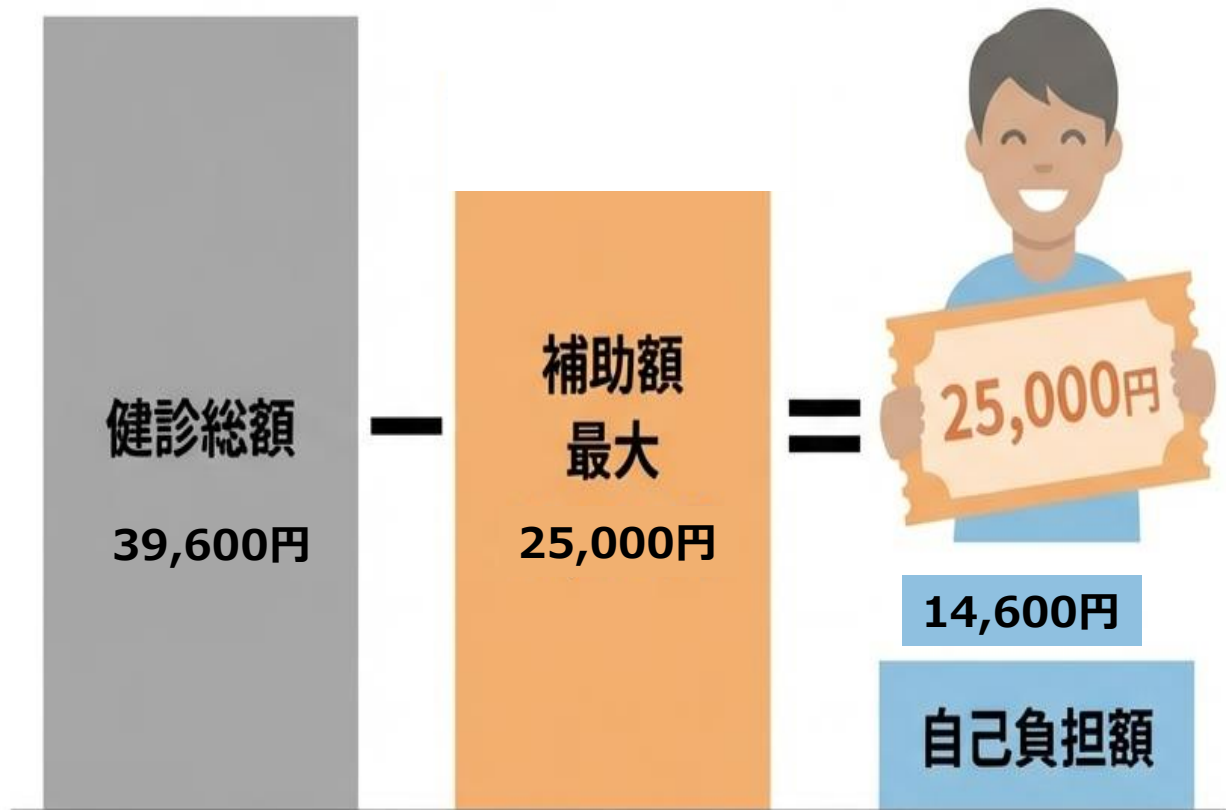


費用・単価の見直し

自己負担額の改定

ポイント① 人間ドック受診時の定額補助がスタート

オリエンタル労働衛生協会を受診され場合



- 対象者：35歳～74歳の被保険者（年度内1回）
- 補助額：最大 25,000円
- 要件：協会けんぽが指定する健診機関（オリエンタル労働衛生協会など）で受診すること。
- 注意：生活習慣病予防健診との同年度内の重複受診は不可。

ポイント② 若年層（20代・30代）への健診拡大

生活習慣病の早期予防と健康意識の向上へ



- 新対象年齢：20歳・25歳・30歳の被保険者
- 検査内容：生活習慣病予防健診から「胃がん・大腸がん検診」を除いた項目。

自己負担額：2,500円

ポイント③ 検査項目の追加（骨粗鬆症・喀痰）

骨粗鬆症検診



- ✓ 対象: 40歳～74歳の偶数年齢の女性
- ✓ 内容: 骨量の減少を早期に発見

自己負担額：250円

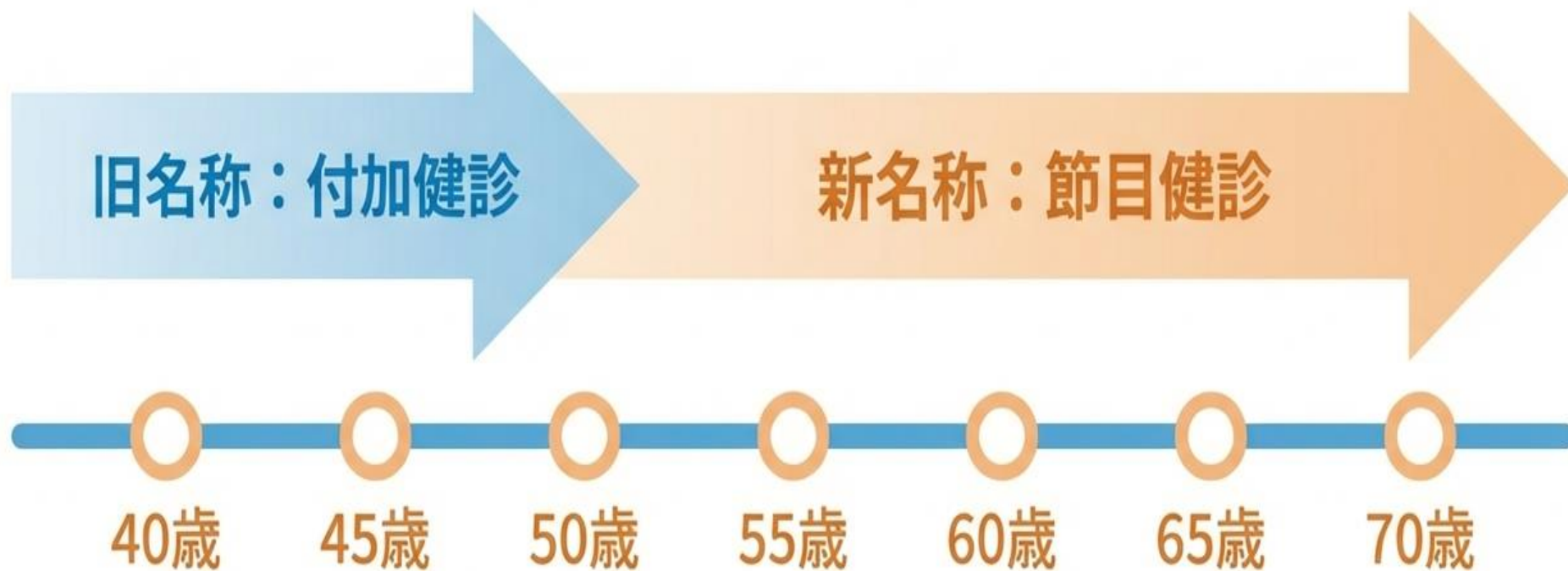
喀痰細胞診（肺がん検査）



- ✓ 対象: 50歳以上かつ喫煙指数(本数×年数)が600以上の方
- ✓ 内容: 肺がんリスクの高い方への詳細検査

自己負担額：590円

ポイント④ 「付加健診」から「節目健診」へ



内容：人間ドックに近い充実した検査項目を、該当する年齢で受診可能。

※一般健診と合わせて受診することで、手厚いチェックが可能です。

各健診の検査項目比較

	生活習慣病 予防健診	若年層健診	節目健診	人間ドック
身体計測	●	●	●	●
視力・聴力	●	●	●	●
血液・尿検査	●	●	● ●	● ● ●
心電図	●	●	●	●
胸部X線	●	●	●	●
胃部X線	●	-	●	●
便潜血	●	-	●	●
眼底検査	医師の判断に基づき実施	医師の判断に基づき実施	●	●
肺活量	-	-	●	●
腹部超音波	-	-	●	●

● 数は項目数を表します

協会けんぽの補助を利用することで、はるかに詳しい検査が受けられます。

ポイント⑤ 2026年度からの自己負担額

健診種別	自己負担額
生活習慣病健診	5,500円
節目健診	8,280円
若年層健診	2,500円
人間ドック	総額から最大25,000円を補助

今後の予定：2027年度（令和9年度）から 被扶養者（ご家族）への健診拡充



※令和9年度より、被扶養者（ご家族）も被保険者と同様に充実した健康診断が受けられるようになる予定です。
※特定健診の枠組みを超え、人間ドック補助などが家族へも適用拡大へ

まとめと受診のご案内

- ✓ **人間ドック**：最大**2.5万円**補助でより詳しく！
- ✓ **若年層**：20代・30代から**早期ケア**！
- ✓ **節目健診**：40歳からの**徹底チェック**！

2026年度の
健診予約・ご相談は

**オリエンタル
労働衛生協会**

へお問い合わせください。

☎06-6266-6441

